

家庭用収納庫

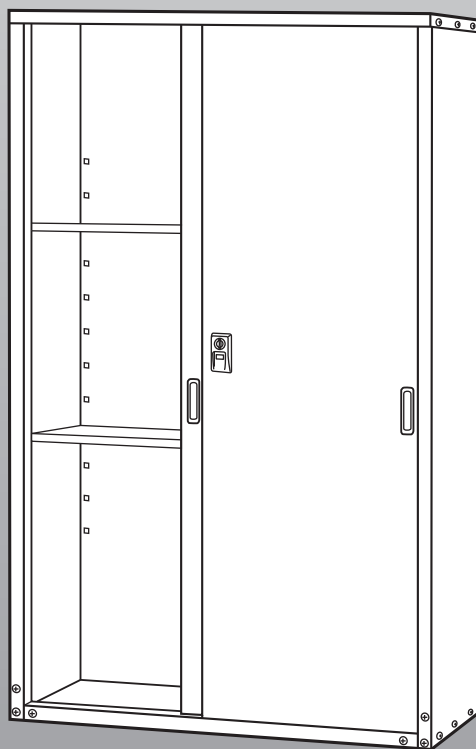
アーバン130HT・160HT型

取扱説明書

このたびは、家庭用収納庫アーバンをお買い上げいただき、誠にありがとうございました。

正しくお使いいただくためにこの取扱説明書をよくお読みになり内容を理解された上でご使用くださいますようお願いいたします。

なお、お読みになったあとも取扱説明書は大切に保管してください。



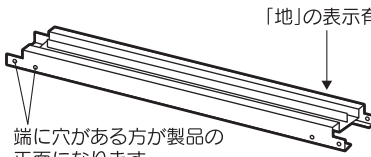
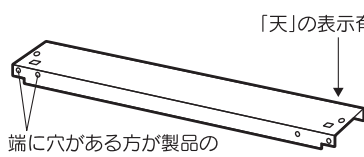
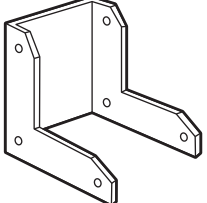
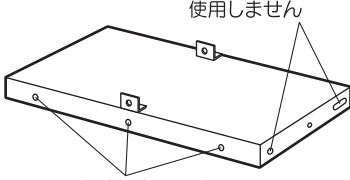
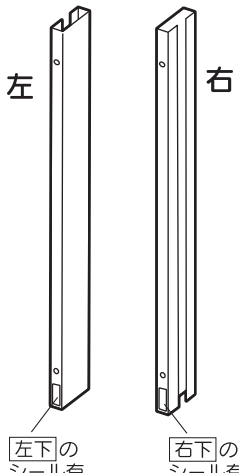
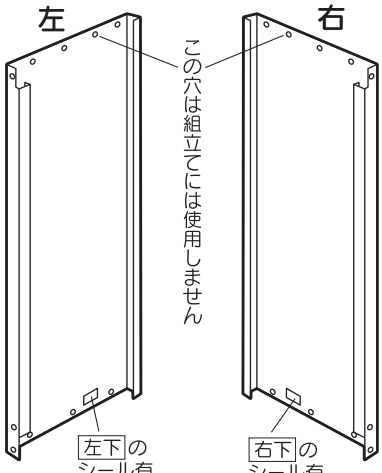
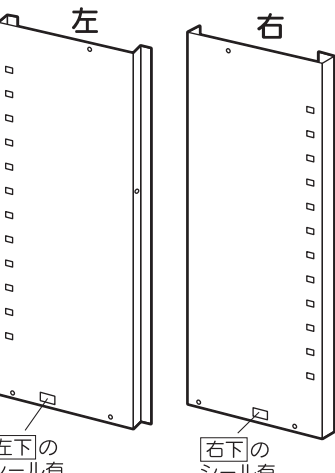
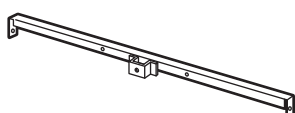
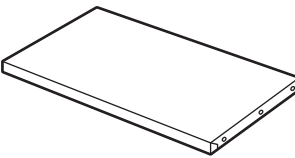
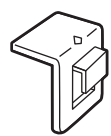
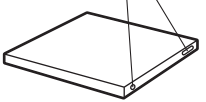
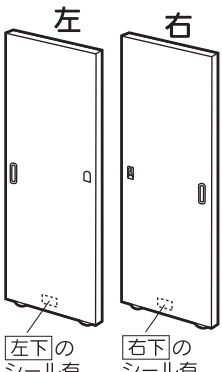
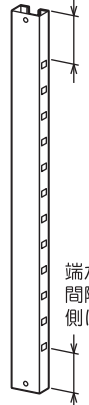
株式
会社

グリーンライフ

部品内容

●組立ての際は、⊕ドライバー・スパナをご用意ください。組立ては2人以上で行ってください。

部品の追加購入について 追加用の「棚板」は型式、「鍵」は鍵番号をご確認の上、ご購入された店舗でお取り寄せください。

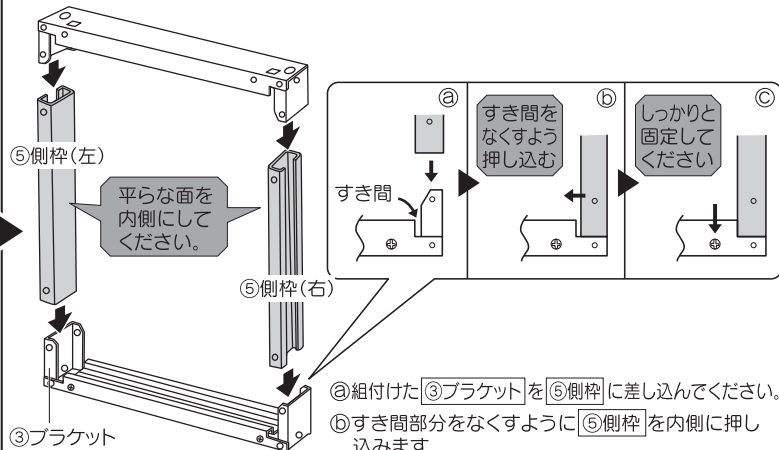
 「地」の表示有 端に穴がある方が製品の正面になります	 「天」の表示有 端に穴がある方が製品の正面になります		 この穴は組立てには使用しません												
①地枠……1	②天枠……1	③ブラケット……4	④底板……1												
 左 右 左下のシール有 右下のシール有	 左 右 この穴は組立てには使用しません 左下のシール有 右下のシール有	 左 右 左下のシール有 右下のシール有	 ⑧後板補強……1 												
⑤側枠……左右各1	⑥側板……左右各1	⑦後板……左右各1	⑨天板……1												
	 この穴は組立てには使用しません	 左 右 左下のシール有 右下のシール有	 端から角穴までの間隔の短い方が下側になります。												
⑩棚受金具…12	⑪棚板……3	⑫引戸……左右各1	⑬センター枠……2												
<table><tr><th colspan="2">ねじセット・付属品</th></tr><tr><td></td><td>⑭小ねじ…10 (うち予備1本)</td></tr><tr><td></td><td>⑮ナット…10 (うち予備1個)</td></tr><tr><td></td><td>⑯タッピンねじ…25 (うち予備1本)</td></tr><tr><td></td><td>鍵…2</td></tr><tr><td></td><td>転倒防止金具…2</td></tr></table>				ねじセット・付属品			⑭小ねじ…10 (うち予備1本)		⑮ナット…10 (うち予備1個)		⑯タッピンねじ…25 (うち予備1本)		鍵…2		転倒防止金具…2
ねじセット・付属品															
	⑭小ねじ…10 (うち予備1本)														
	⑮ナット…10 (うち予備1個)														
	⑯タッピンねじ…25 (うち予備1本)														
	鍵…2														
	転倒防止金具…2														

1 天枠・地枠・側枠の組付け

手順1 ①地枠 ②天枠 の両端の内側に③ブラケットを差し込んでください。

手順2 左右各1ヶ所ずつ⑭小ねじと⑮ナットで仮止めてください。

※天枠・地枠とブラケットの間に約1mmのすき間をあけてください。



⑤側枠(左)

⑤側枠(右)

③ブラケット

平らな面を内側に向けてください。

③組付けた③ブラケットを⑤側枠に差し込んでください。

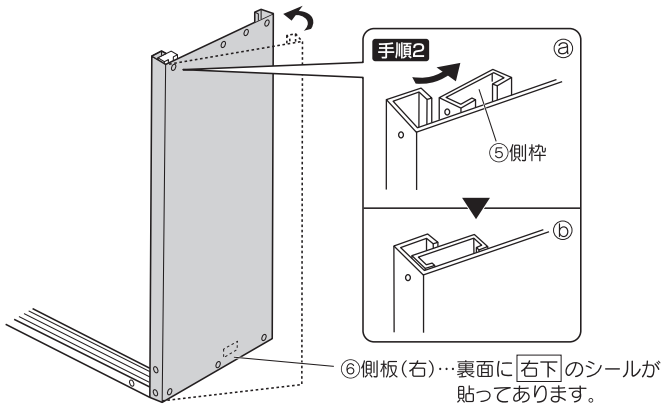
⑤すき間部分をなくすように⑤側枠を内側に押し込みます。

△側枠を差し込む際は、2ヶの丸穴がある方を前面にし、平らな面を内側に向き合わせてください。反対向きにすると、組立てができません。

◎仮止めていた⑭小ねじをしっかりと最後まで締め固定してください。

2 側板の組付け

※②天枠のイラストは省略してあります。

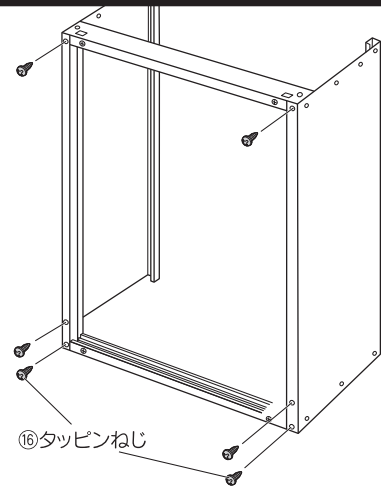


⑥側板(右)を⑤側枠(右)に沿わせるようにして組み付けてください。
※左側も同様に組み付けてください。

⚠ 注意

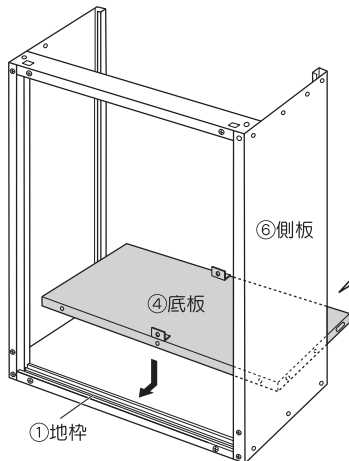
タッピンねじは、取付穴にねじ溝を作りながら締めるねじで、取付穴よりねじの方が大きくなっているため、**取付ける際には力が必要です。**

最初にタッピンねじを取付穴に軽く締め込み、徐々に力を入れて奥までしっかりと締め込んでください。タッピンねじを取り付ける際は、ドライバー先端の④部分とタッピンねじの④部分があうドライバーをお使いください。また、ドライバーの握り部分が太く長めのものをご使用された方が楽に取付けできます。



左右⑥側板を①⑥タッピンねじでしっかりと固定してください。

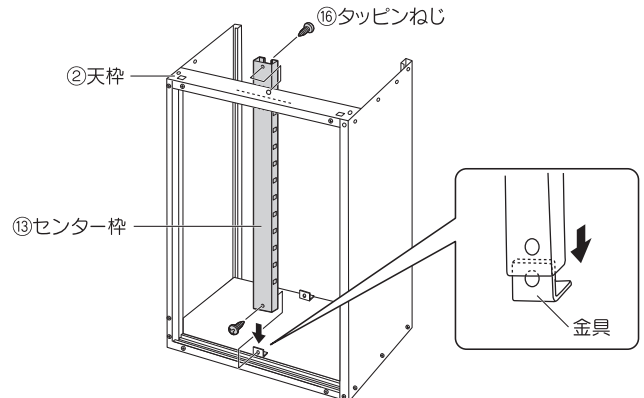
3 底板の組付け



〈前側〉
④底板を横から見た時、上図の左側が前側になります。

④底板を⑥側板の間に、①地枠に突き当ててください。

4 センター枠の組付け

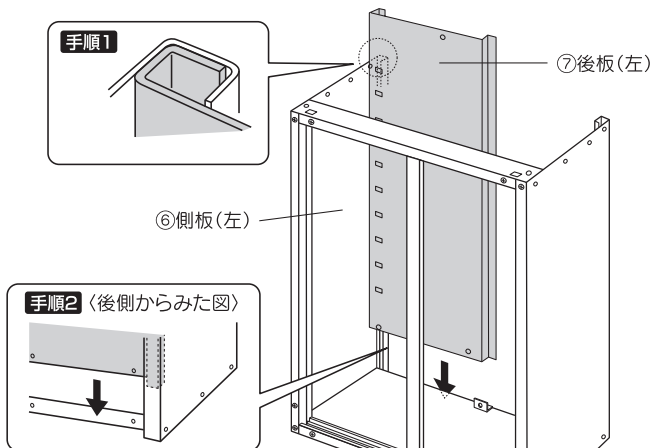


①③センター枠を金具に差し込み①⑥タッピンねじで上下2ヶ所を固定してください。

上部の穴は②天枠の穴に合わせて固定してください。

※①③センター枠は平らな面が前面になります。また、端から角穴までの間隔の短い方が下側になります。

5 後板の組付け



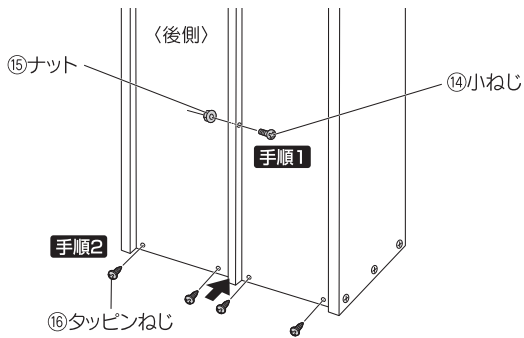
手順1 ⑥側板(左)と⑦後板(左)を図のようにかみ合わせてください。

手順2 ⑦後板(左)を一番下までスライドしてはめ込みます。

手順3 同様に後板が図のようにかみ合わせるように⑦後板(右)を組み付けてください。

手順4 ①⑥タッピンねじで左右3ヶ所ずつ仮止めしてください。

⑥ 後板の固定

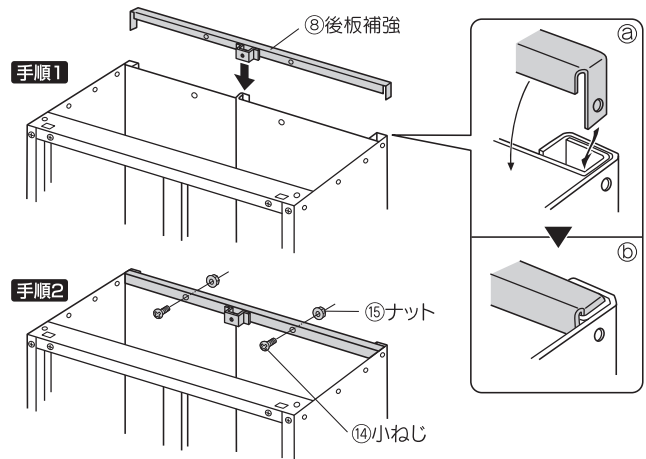


手順1 左右の⑦後板を⑭小ねじ ⑮ナットでしっかりと固定してください。

手順2 後板下部中央を押し、穴位置に合わせて⑯タッピンねじで左右2ヶ所ずつ仮止めしてください。

手順3 ⑤、⑥で仮止めた⑯タッピンねじをしっかりと最後まで締め固定してください。

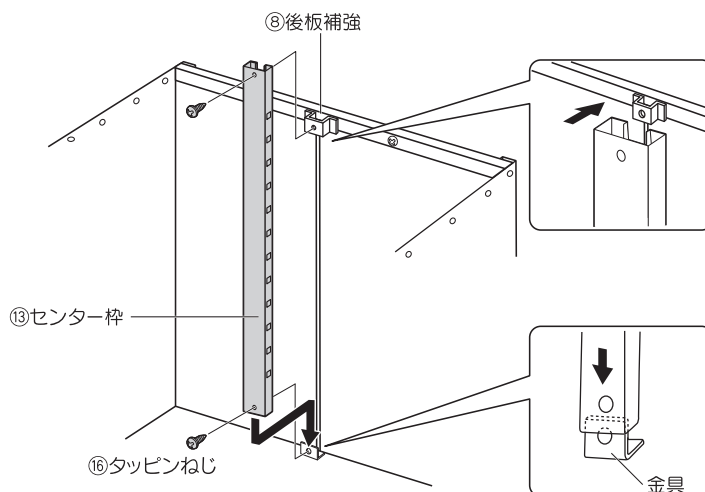
⑦ 後板補強の組付け



手順1 ⑧後板補強を②③のように組み付けてください。

手順2 ⑧後板補強を⑭小ねじ ⑮ナットでしっかりと組み付けてください。

⑧ センター枠の取付け



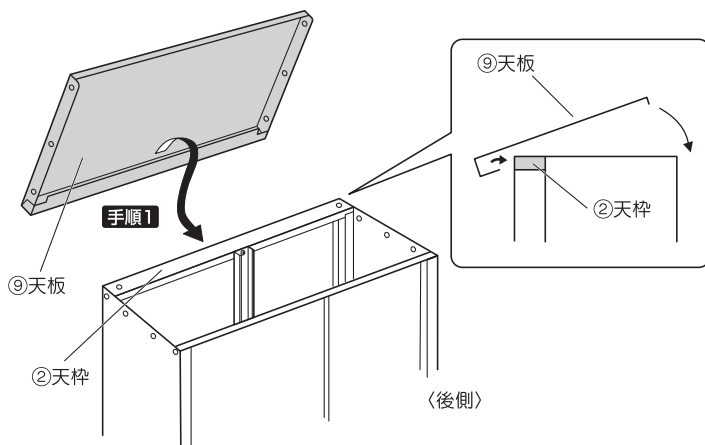
⑬センター枠を金具に差込み⑯タッピンねじで上下2ヶ所を固定してください。

上部の穴は⑧後板補強の穴に合わせて固定してください。

※⑬センター枠は平らな面が前面になります。

また、端から角穴までの間隔の短い方が下側になります。

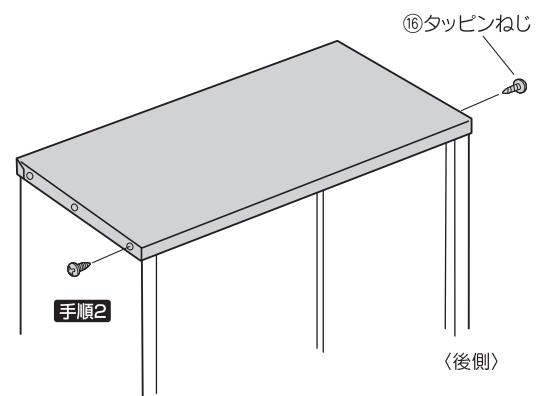
⑨ 天板の組付け



手順1 ⑨天板の折り返し部分を前側から②天枠に入れるようにはめ込んでください。

手順2 ⑥側板 ⑦後板 ⑧後板補強 ⑨天板の全てのねじ穴を合わせ⑯タッピンねじでしっかりと固定してください。

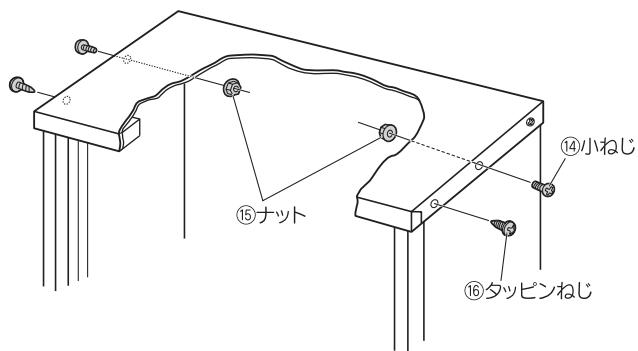
※ねじ穴位置が合っていない場合は、前方より後板を押して合わせてください。



10 天板の固定（転倒防止金具の取付け）

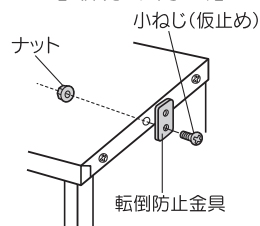
お願い

転倒防止の為、転倒防止金具は必ず取り付けてください。



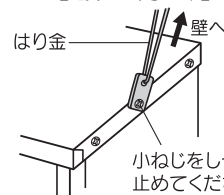
- 手前の穴を⑯タッピングねじでしっかりと固定してください。
- 中央の穴を⑭小ねじ⑮ナットで止め固定してください。

【取付け方法】



天板と側板を小ねじで止める際に転倒防止金具を通してねじを仮止めしてください。（左右一つずつ）

【設置方法】



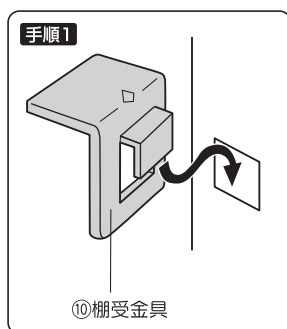
設置の際は、はり金を転倒防止金具に通してから壁などに接続し、仮止めした小ねじをしっかりと止め、固定してください。

※はり金は、最寄りの金物店、又はホームセンターなどで買い求めください。

転倒防止金具の取付けがされていない場合、強風等により転倒し、傷害事故や物的損害を招くおそれがあります。

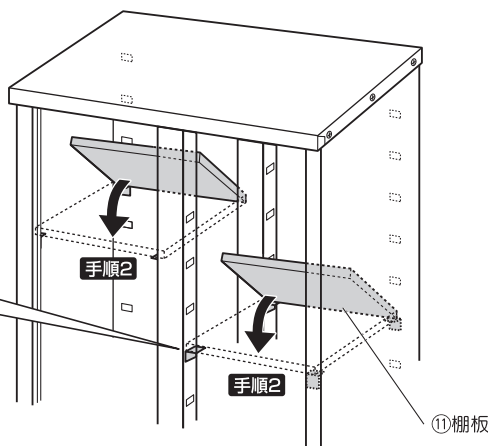
11 棚板の組付け

※本製品には⑪棚板を3枚付属しておりますが、さらに増設される際は、
(※)グリーンライフ製専用棚板セット(別売)をご購入ください。



手順1

⑩棚受金具



手順2

手順2

⑪棚板

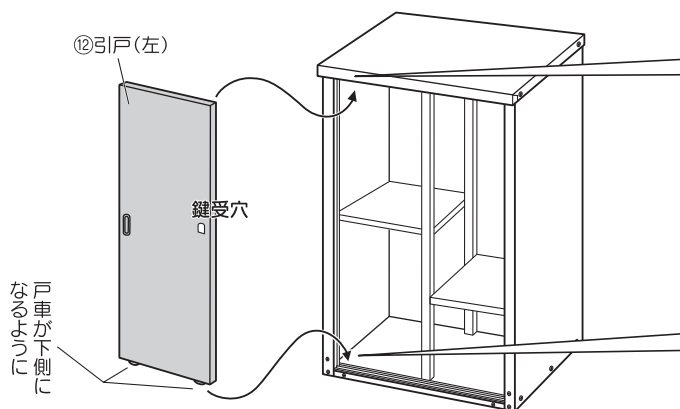
手順1 ⑩棚受金具 4個を、お好みの高さの角穴に取り付けてください。

(※⑩棚受金具は全て同じ高さにしてください。)

手順2 ⑪棚板を傾けて本体の中に入れ、奥側の⑩棚受金具に引っ掛け、手前側に倒して引っ掛けるようにしてください。(水平になる事を確認してください。)

⚠ ⑩棚受金具は⑪棚板1枚につき、必ず4個使用してください。

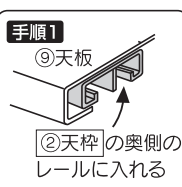
12 引戸の組付け



手順1 ⑫引戸(左)の上側を②天枠奥側のレールに入れてください。

手順2 ⑫引戸(左)の下側を①地枠奥側のレールに合わせたら、戸車がレールの中に入るようにゆっくりと⑫引戸(左)をおろしてください。

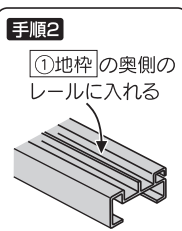
※同様に⑫引戸(右)を②天枠・①地枠の手前のレールに組み付けてください。



手順1

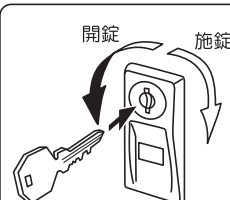
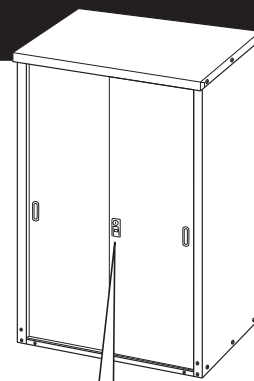
⑨天板

②天枠の奥側のレールに入れる



手順2

①地枠の奥側のレールに入れる



- ⑫引戸をきちんと閉めた事を確認してから施錠してください。(きちんと閉めてないと施錠できません。)
- このカギは半回転(180°)させると施錠・開錠が出来ます。
- 最後に施錠・開錠の確認をしてください。

■使用上の禁止事項■

安全の為に必ずお守りください。
(○記号は禁止の行為であることを告げるものです。)

警告

この表示を無視して誤った取扱いをした場合、使用者が死亡又は重傷を負う可能性が想定される内容を示しています。

法令・規約を守り設置する。

集合住宅等のベランダに設置される場合、消防法上、仕切り板・避難ハッチ・消防隊進入口サッシ近くには、設置を避ける義務があります。設置にあたっては、管理組合にご相談ください。また、お子様が踏み台にして転落しないように、十分ご注意ください。



危険物・薬品・壊れ易い物・生き物を入れない。

思いがけない事故につながるおそれがあります。



注意

この表示を無視して誤った取扱いをした場合、使用者が傷害を負う危険が想定される、又は物的損害のみの発生が想定される内容を示しています。

使用前にもう一度各部のネジ・ナットが締まっているか、各板・各枠にガタツキがないか確かめてからご使用ください。



鋼板製ですので組立ての際にはケガなどしないよう手袋を着用してください。



傾斜や凹凸のある場所には設置しないでください。



天板の上に物を載せたり、上がったりしないでください。本体の変形・破損、落下転倒のおそれがあります。



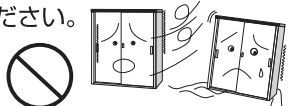
鋼板製ですので、角部でお子様などがケガなどしないよう設置場所には十分注意してください。



手すりのそばに設置される場合は必ず壁面側に設置してください。手すり側への設置は危険です。



崖のふちや風当たりの強い場所等安全の確認ができない場所には設置しないでください。



棚板には25kg以上の物を載せないようにしてください。



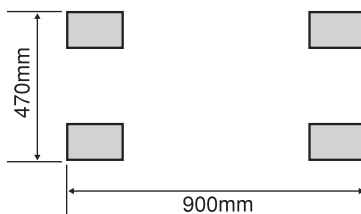
組立完成図

仕様

材質
本体：鋼板
地枠：ステンレス鋼板
仕上げ
焼付塗装



ブロック設置方法



平らでない地面に設置する場合は、ブロックなどを四隅に高さを揃えて置いてから本体を設置してください。また、舗装された場所に設置する際もブロックなどで底上げして風通しを良くすると底板部のさびを防げます。ブロックは、最寄りのホームセンターなどで買い求めください。

注意事項

■組立て上の注意

- △各部品の特徴、数量をご確認ください。
- △組立てに支障のないよう広い場所で組み立ててください。
- △平らな場所で組み立ててください。
- △組立て後、設置場所への移動は引きずらないでください。

■設置上の注意

- △設置する場所は、水はけの良い所を選んでください。
- △雨が直接当たらない場所に設置してください。
- △水平に設置されない場合、全体にねじれなどが生じ、扉の開閉が出来ない原因になりますのでご注意ください。
- △直接日の当たる場所に設置されますと、庫内の温度上昇により収納物を傷めるおそれがありますので、直接日の当たらない場所に設置してください。
- △強風・地震等に備え、転倒防止に十分配慮してください。
- △火気のそばに設置しないでください。

■使用上の注意

- △収納庫以外の目的では使用しないでください。
- △安全のため雪降ろしを行ってください。雪降ろしを行うときは、屋根に上がらず踏み台・脚立などを使って安全に行ってください。本体のまわりの雪も取り除いてください。
- △設置場所を移動する場合は、必ず収納物を出してから行ってください。
- △扉の開閉は必ず取手を持って行ってください。

- △変形・破損等の状態で使用しないでください。
- △収納物は確実に入れ、貴重品は収納しないでください。
- △衣類や書籍等の湿気に弱い物は、収納しないでください。
- △汚れがひどいときは、うすめた中性洗剤で拭き取り、洗剤が残らないように水拭きした後、から拭きしてください。
- △溶剤（シンナー・ベンジン）などは使用しないでください。
- △鋼板製品は、キズが付くとその部分からさびが発生します。早目にキズの部分に塗装を施し、こまめに補修されることをお勧めいたします。
- △部品の表面仕上げには十分配慮しておりますが、長年ご使用いただくうちに、さびや劣化により収納物を傷めたり、また部品の破損や転倒等のおそれがありますので、定期的に点検してください。異常が認められた場合は早めの買替えをお勧めいたします。
- △施錠の際は、お子様やペットなどが中に入らないことを必ず確認してください。

■ステンレス部の注意

- △ステンレスは絶対さびないのではなく、極めてさびにくい金属です。しかしステンレスの表面に付着したほこり・す・ちり・鉄粉などをそのまま放置しておきますとさびの原因になりますので、濡れ布で汚れを拭き取ってください。油汚れは中性洗剤を使用し、その後濡れ布で拭き取ってください。
- △付着した油脂類をとるためにシンナーを使用すると、表面の光沢を乱しますのでおやめください。
- △ステンレスは塩素にとても弱いので、タイル洗浄剤や次亜塩素酸ソーダ（ブリーチ、ハイター等）や、苛性ソーダは使用しないでください。

製品改良のため、仕様・外観は予告なしに変更することがありますので、ご了承ください。

お願い

製品に不都合な点がございましたら、お手数でも弊社フリーダイヤルまでご連絡ください。早速お取り替え等の対応をさせていただきます。

- ご不明な点がございましたら下記フリーダイヤル、グリーンライフ「お客様サービス係」までお問い合わせください。

フリーダイヤル
受付窓口 **0120-717152**

受付時間▶9:00~17:00(土・日・祭日・夜間は留守番電話になります。)



株式会社 **グリーンライフ**

本社 新潟県三条市南四日町3-7-58
〒955-0852 TEL(0256)36-4001(代)
FAX(0256)36-4050

E-mail: niigata@greenlife-web.co.jp
URL: http://www.greenlife-web.co.jp

ABN-160HT 03